



若あゆだより

第30号（令和5年10月20日）

岩脇小学校学校だより

聞く力アップ大作戦～他者を理解するために～

後期に入り、生徒指導主任からの提案により、全校で『聞く力アップ大作戦』に取り組んでいます。

「なぜ生徒指導主任から？」と感じるかもしれませんが、『聞く力』とは「他者を理解する力」でもあり、相手の気持ちや考えを理解し、よりよい人間関係を築くために、とても大切な力だと考えるからです。

子どもたち、特に学年が小さいほど「自分の気持ちを分かって欲しい」という気持ち（＝話す）が強く、相手を理解しようとする（＝聞く）には、あまり意識が向きません。その結果、トラブルが起こったり、そのトラブルを上手に解決できなかったりします。最近では、コミュニケーション能力の育成として、表現力を高めることやきちんと自己主張ができることが重視される傾向があります。しかし、適切なコミュニケーションを取るためには、人の話をしっかりと聞いて、相手の気持ちや考え、またその背景などを理解し、受け止めながら、話すことが必要です。

また、『聞く力』は物事を学ぶ際の基本姿勢であり、学力の向上に欠かせないことは言うまでもありません。

『聞く力』は、すぐに身につくものではありませんが、今回の取組を機に、子どもたちが聞くことの大切さに気づき、聞くことへの意識が高まるようにしていきたいと思っています。

聞く力アップ大作戦

- ①していることをやめて聞く
- ②話している人の方を向いて聞く
- ③うなずくなどの反応をしながら聞く
- ④話が終わるまで聞く
- ⑤質問や感想を言えるように聞く

ICTボランティアの出前授業

県の「学校ICTボランティア活用制度」を利用して、2年生と5年生で出前授業を行っていただきました。

5年生は、「タイピング」です。授業におけるタブレットの活用はどんどん進んでいますが、キーボードを使って文字入力をする機会、特にタイピングの練習をする時間は不十分です。しかし、将来的にはタイピングの技能は必要です。今回は、ゲーム的な要素を取り入れたアプリを使って練習しましたが、子どもたちの飲み込みの早さには脱帽でした。

2年生では、プログラミング学習の第一歩となる体験活動を行いました。事前に組まれているプログラムの中に、魚やイカ・タコの絵を描いて、動かしていきましました。今回は、自分で直接プログラムを組んだわけではないですが、プログラミングのおもしろさにふれることができました。

